

令和6年度 北栄町中小企業・小規模企業振興基本計画検討委員会 議事録

日 時	令和6年3月18日（火）午後3時30分～午後5時
場 所	大栄農村環境改善センター 会議室4
出 席 者	<p>北栄町商工会：伊藤孝一          鳥取県商工会連合会中部商工会産業支援センター：岩本 敬二          北栄町女性団体連絡協議会：徳山 邦子          鳥取県中小企業診断士協会：穂田 誠一郎          北栄町：岡本 圭司 副町長          オブザーバー：小椋 秀一 北栄町商工会事務長          事務局：清水 直樹 産業振興課長、穴山 夕希生 農商工推進室長、          松井 映子 農商工推進室副主幹</p>
	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 協議事項          (1) 計画の進捗状況の検証・評価          (事務局説明)</p> <p>〈委員長〉令和6年度の事業について、商工会と町と連携して事業を行っているのが、補足等あればお願いしたい。          〈オブザーバー〉令和5年4月からワークデザインラボ・役場・商工会と3者で連携協定を締結し、取り組んでいる。複業人材活用補助金の利用はまだまだ少ないが、支援した先においては着実に成果に繋がっている。副業人材の活用も経営課題解決の一つの手段として広げていければと考えている          また、米花商店街がコロナ前1.5倍ぐらいの集客となっている。          そのおかげもあって米花商店街のその周辺の創業活発化している。          事業承継について、近年大きな課題となっている、親族内承継であれば容易であるが、第三者承継は時間と手間がかかり、すぐに実績には繋がりが繋がない。          〈委員長〉企業訪問において、役場職員が商工会に同行するのはどのような時か。補助金の活用意向があるときに同行するという考え方でよいか。          〈事務局〉そのとおりです。          〈委員〉北栄町でも地域おこしを受け入れているが、退任後に起業される方もいるのか。          〈事務局〉町内に民泊を開業された方がいる。北栄町に住んでいるが、集客や経営のことを考えて、倉吉市で飲食業を開業された方もいる。就任前からキッチンカをされていて、本町でも引き続きされているご夫婦の協力隊もいる。          〈委員〉中央育英高校に配布された商品券の使い道は？          〈事務局〉半数以上は、友人や家族と使用された。買い物や飲食店での使用など。普段なかなか入る機会のない個人事業主のお店を利用される機会となったと聴いている。          〈委員〉令和6年の創業の件数だが、これは既存事業者が使用されたものもはいつているか。</p>

<p>〈事務局〉由良宿まちづくり活性化支援事業は、第2創業も対象としている。</p> <p>〈委員〉鳥取県の商工会地域で2月末で創業件数が80。そのうち中部は25件。北栄町はその中で12件。北栄町での創業相談が多いと感じている。</p> <p>〈委員〉「(1)企業の経営革新に向けた取り組み」について、目標を経営革新に絞ってあるが、もう少し幅広く経営安定や経営改善も取り入れてはどうかと思う。</p> <p>〈委員長〉第2次計画の改定は令和8年度だが、的確に評価できるKPIがあれば、3年の見直しを待つ必要はないが。</p> <p>〈事務局〉検討します。</p> <p>〈委員〉「災害に強いまち」とあるが、人材を確保できるように考えていかなければならない。今回、大規模な道路陥没があった。人材育成や企業の育成も継続的に取り組まれた方がよいと思う。</p> <p>(2) 来年度の取組について</p> <p>(事務局説明)</p> <p>〈事務局〉来年度は「地域の人事部」事業に取り組む。商工会、町、関係機関が一体となって、北栄町の人材確保・育成・定着を図っていく。</p> <p>商工会に地域活性化起業人(副業型)、地域おこし協力隊を配置し事業を実施する。</p> <p>4. その他 なし</p>
---